

農の架橋 地域と共に

白子町農業委員会だより NO.43



令和3年6月
編集・発行/
白子町農業委員会

「町の頑張る農業担い手集団」を皆さんに紹介します。

施設野菜産地（トマト）の維持発展に向けて

JA長生 施設野菜部会

長生地域は、年間平均気温 15.6℃、年間降水量 1,941 mmという温暖な気候、首都圏までの距離 70 km圏内という有利な立地条件を兼ね備えた地域であり、このような恵まれた条件を生かして県下有数のトマト産地を形成しています。集出荷場の JA グリーンウェーブ長生は、最新の選果機により糖度と酸味の計測を実施し、トマト・キュウリ・メロンの荷受けから選別、荷造りまで自動化、さらには、非破壊内部品質センサーとトレーサビリティシステム（1）により、高品質で安全・安心な農産物を販売することが可能です。

この施設は、選果選別や箱詰めなど一連の集出荷作業の労力軽減のために平成7年に建設されました。施設野菜部会の現在の会員は117名。うち白子町内の生産者は36名で、農家個々が経営基盤の確立と所得の向上を目指して頑張っています。



左から 石和田 喜明さん 片岡 正和さん 大多和 健二さん
田邊 一也さん 中古 健太郎さん

現在、同会の白子支部長を務める、大多和 健二さんに話を伺いました。

「産地を維持していくのは大変だよ。どの地域も抱えている問題だと思うけど、高齢化や後継者不足で、年々生産者が減少しているのが現実。長生地域も同様に組合員が減少していて、その分トマトの生産量が減ってしまう。組合員の皆が勉強して生産量を増やそうと技術の向上を図りながら頑張っているけど、なかなかそれをカバーするまでいかになくてね。だから、農業経営に興味を持ってもらい新規就農者を増やしていくことが、産地維持のためには必要だと思っている。

これからも医食同源『味よし、色よし、鮮度よし』を合言葉に、美味しい野菜や果実の供給が私たちの使命と考え、愛情こめて育てた農作物を多くの方に年間を通して届けられるよう、日々の生産に励みます。」と語ってくれました。

1 生産・流通過程が追跡可能である、生産・流通の履歴を正確に記録・管理するシステムのこと

農業に多様な人材を活用しよう ～女性が経営参画し活躍できる環境を～

農業就業人口の半数は女性

令和元年の農業就業人口は168万人で、そのうち女性農業者が約半数の76.4万人(45.4%)を占めており、**女性は農業の重要な担い手**となっています。

平成30年の新規就農者数の1/4は女性で、新規雇用就農者については、女性が全体の32.6%と割合が高くなっており、また、農業高校の女子比率や農業大学の女性卒業者の就農割合も20年前と比べて増加しています。

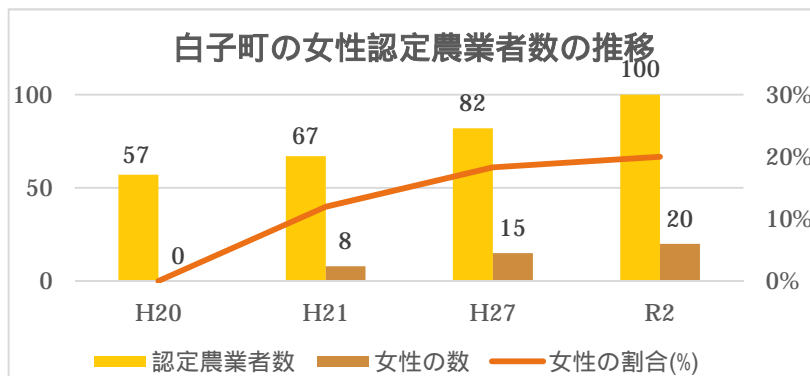
農業就業人口は平成7年の414万人から減少しており、今後も減少が見込まれる中、女性に職業として農業を選択してもらうためには、やりがいや魅力の他に、家事・農業従事の役割分担、就業条件等の整備をして、女性が働きやすく活躍できる環境を整えていくことが重要になってきます。

女性の経営への関与が収益増に寄与

女性が経営に参画している販売農家は、全体の47%を占めています。(株)日本政策金融公庫のアンケート調査によると、女性が経営に関与する経営体では、収益増に寄与することがわかっており、また、販売金額が大きい経営体ほど女性が経営に関与する傾向があります。女性が経営に参画した場合、消費者への直接販売に取り組む割合が高くなり、消費者ニーズを的確にとらえて対応し、販売・6次化へ活かして収益に結びつけているようです。



女性認定農業者数の推移



家族経営協定を締結して、農業経営・生活面で家族内の役割分担を明確にしておくことは、家族間の意識を改革し、経営参画に繋がります。締結することで、認定農業者の共同申請ができるようになり、女性農業者も農業制度資金や農業者年金の保険料支援を活用することができます。女性の認定農業者数は共同申請の制度ができた平成15年から約3倍に増加しており、白子町でも平成21年度から共同申請の増加とともに、女性認定農業者

も増加しています。令和2年12月現在、女性認定農業者数は20人、認定農業者数に占める女性の割合は20%になっています。

女性農業委員は増加傾向

第5次男女共同参画基本計画において、農業委員の女性の割合についての成果目標は30%としており、全国1,703農業委員会のうち、成果目標に達している農業委員会は60(千葉県は1)で

全体の3.5%となっています。

令和元年10月1日時点で全国の女性農業委員数は2,788人。全農業委員(23,125人)に占める女性の割合は12.1%と平成12年の1.8%から増加傾向にあります。また、同時点で白子町の農業委員に占める女性の割合は18.2%となっています。

農業の重要な担い手である女性農業者の強みを活かした活躍ができるように、地域農業の政策・方針決定へ女性の意見を取り入れていくためには、女性農業委員を増やしていくことが必要になってきます。

女性農業者に対する支援：女性農業地域リーダー育成支援 / 農業における子育て地域ネットワークへの支援